

地震・水害対策 サービス

発災後の適切な「対応」により被害の拡大を防ぎます

Nadiss® × ERS 災害アラートQ

近年は災害の大規模化によって被害の甚大化が懸念されています。

▶ 発災時の **機能低下の最小化** ための「対応」が益々重要に
速やかな回復の実現

緊急時の
事業継続

早期復旧の
実現

顧客の
信頼維持

企業価値の
維持向上

Nadiss®

Nadiss® は、自然災害やライフライン障害情報を配信する(株)レスキューナウの情報を活用し、管理担当者に自動で災害・障害情報をメールで発信、対応状況をNadiss® に書き込む事でタイムリーな情報共有が可能な、鹿島建物で独自開発した社内システム。

ERS 災害
アラートQ

防災科学技術研究所が大地震の後に発表する推定深度などの情報と、個別建物の構造や竣工年度などの情報を組合わせ、地震から30分程度で建物・施設ごとの震度及び建物の構造被害の推定を配信するシステム

ご提案先

広域に**複数の建物**を所有するお客様

導入による効果

災害時に**複数建物の被害状況の一括把握が可能**
災害復旧の**優先順位付けが可能**

▶ 早急に合理的な情報で、お客様の **意思決定** をサポート

お客様の意思決定により…

対策検討

安否確認

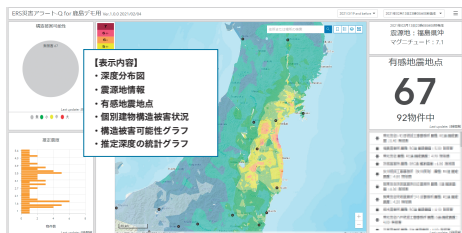
避難指示

支援態勢構築

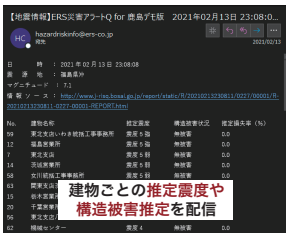
…などを行うことが可能です。

Nadiss® × ERS 災害アラートQ 自治体様確認画面例

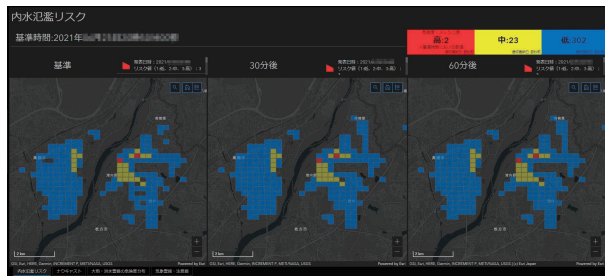
マップ配信データ画面



メール配信データ画面



▶ 全物件の震度・推定被害情報を一括配信（メール・マップ配信）

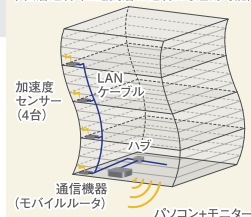


内水の発生があるエリアを解析・予測する「災害アラートF」というシステムもあります。お気軽にお問い合わせください。

建物安全度判定支援システム q-NAVIGATOR®

大地震が発生した際のBCP対策及び帰宅困難者対策のために、施設の安全性を確認したうえで、職員や在館者を建物内に留めることが求められています。建物安全度判定支援システム(q-NAVIGATOR®)は、地震による建物の構造安全性を揺れが収束してから数分で結果を出力し、避難の要否判断・BCP対応を支援するシステムです。

中低層建物（※超高層の建物にも適用可能）



in 鹿島建物